



規制テーブルの管理

この章は、次の項で構成されています。

- [概要：デフォルト規制テーブル \(P.9-1\)](#)
- [規制テーブルの作成 \(P.9-2\)](#)
- [規制テーブルの修正 \(P.9-3\)](#)
- [規制テーブルの削除 \(P.9-4\)](#)

概要：デフォルト規制テーブル

Cisco Unity Connection には、次の規制テーブルがあらかじめ設定されています。これらの規制テーブルは変更（名前の変更を含む）できますが、削除はできません。各規制テーブルでは、長距離電話番号へのアクセスがデフォルトで規制されています。

Default Fax	ファックス転送用の番号を規制します。ファックスに関連する機能は、Cisco Unity Connection のこのリリースでは使用できないことに注意してください。
Default Outdial	メッセージの到着通知用の番号を規制します。Media Master で、録音および再生デバイスとして電話機が選択されている場合は、Connection がダイヤルするユーザの内線番号も規制されます (Media Master は Cisco Unity Connection Administration、Cisco Unity Assistant、および Cisco Unity Inbox で使用できます)。
Default System Transfer	身元不明発信者が指定した番号へ転送できる発信者のシステム転送で使用される番号を規制します。たとえば、発信者は Connection ユーザに関連付けられていないロビーまたは会議室の電話にダイヤルする場合があります。デフォルトでは、このテーブルにより、Connection は任意の番号にダイヤルできません。
Default Transfer	電話転送用の番号を規制します。

規制テーブルの作成

設定済みの規制テーブルは変更可能です。また、最大 100 の新規規制テーブルを作成できます。1 つのテーブルに対し、最大 100 のパターン番号を追加できます。新規パターン番号は自動的に規制テーブルのパターン番号 0 に挿入されます。Cisco Unity Connection は、電話番号を規制テーブルのダイヤルパターンと比較するときに、パターン番号 0 から始めて順に比較するため、パターン番号の順序が非常に重要になります。ある番号が 2 つ以上のダイヤルパターンと一致した場合、その番号は最初に一致したダイヤルパターンに従って処理されます。

特定の番号を入力するか、次の特殊文字をワイルドカードとして使用すると、ダイヤルパターンを指定できます。

*	0 以上の数字と一致。
?	1 つの数字にだけ一致。? を単一の数字のプレースホルダーとして使用します。
#	電話の # キーと一致。

すべての規制テーブルには、最後のパターン番号のダイヤルパターンとして * がデフォルトで設定されています。このダイヤルパターンの設定は変更できません。この設定によって、入力された番号が規制テーブルのどのダイヤルパターンとも一致しない状況が回避されるためです。ただし、このパターン番号の [Blocked] フィールドを変更し、ある番号を許可または禁止することは可能です。

新規規制テーブルを作成する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[System Settings] を展開し、[Restriction Tables] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Restriction Tables] ページで、[Add New] をクリックします。
- ステップ 3** [New Restriction Table] ページで、適切な基本設定を入力します。フィールドの詳細については、[Help] メニューの [Field Definitions] をクリックしてください。



(注) アスタリスク (*) の付いたフィールドは必須フィールドです。

- ステップ 4** [Save] をクリックします。
- ステップ 5** パターンを規制テーブルに追加するには、[Edit Restriction Table] ページの [Patterns] ボックスで、[Add New] をクリックします。
- ステップ 6** パターンのいずれかの設定を変更した場合は、[Save] をクリックします。
- ステップ 7** 許可または拒否する各パターンを追加し終わるまで、ステップ 5 とステップ 6 を繰り返します。
- ステップ 8** パターンの順序を変更するには、[Change Order] をクリックし、次の手順を実行します。
 - a. パターンをリスト内で移動するには、[Change Restriction Pattern Order] ページで、パターンをクリックし、必要に応じて上向き矢印または下向き矢印をクリックします。
 - b. パターンの順序を変更し終わったら、[Save] をクリックします。

- c. [Edit Restriction Table] ページに戻るには、[Edit] メニューの [Edit Restriction Table] をクリックします。

ステップ9 パターンをリストから削除するには、パターンの左側にあるチェックボックスをオンにして [Delete Selected] をクリックし、[OK] をクリックして削除を確定します。

規制テーブルの修正

規制テーブルを修正する

ステップ1 Cisco Unity Connection Administration で、[System Settings] を展開し、[Restriction Tables] をクリックします。

ステップ2 [Search Restriction Tables] ページで、修正する規制テーブルの表示名をクリックします。



(注) 修正しようとする規制テーブルが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して、[Find] をクリックします。

ステップ3 パターンを規制テーブルに追加するには、[Edit Restriction Table] ページの [Patterns] ボックスで、[Add New] をクリックします。

ステップ4 パターンのいずれかの設定を変更した場合は、[Save] をクリックします。

ステップ5 許可または拒否する各パターンを追加し終わるまで、[ステップ3](#)と[ステップ4](#)を繰り返します。

ステップ6 パターンをリストから削除するには、パターンの左側にあるチェックボックスをオンにして [Delete Selected] をクリックし、[OK] をクリックして削除を確定します。

ステップ7 パターンの順序を変更するには、[Change Order] ボタンをクリックし、次の手順を実行します。

- a. パターンをリスト内で移動するには、[Change Restriction Pattern Order] ページで、パターンをクリックし、必要に応じて上向き矢印または下向き矢印をクリックします。
- b. パターンの順序を変更し終わったら、[Save] をクリックします。
- c. [Edit Restriction Table] ページに戻るには、[Edit] メニューの [Edit Restriction Table] をクリックします。

ステップ8 パターンをリストから削除するには、パターンの左側にあるチェックボックスをオンにして [Delete Selected] をクリックし、[OK] をクリックして削除を確定します。

規制テーブルの削除

規制テーブルを削除する

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、**[System Settings]** を展開し、**[Restriction Tables]** をクリックします。

ステップ 2 [Search Restriction Tables] ページで、削除する規制テーブルの表示名をクリックします。



(注) 削除しようとする規制テーブルが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して、**[Find]** をクリックします。

ステップ 3 [Edit Restriction Table] ページで、**[Delete]** をクリックします。



(注) 削除しようとする規制テーブルをサービス クラスが参照している場合は、エラー メッセージを受け取ります。このリファレンスを見つけて削除するまでは、規制テーブルを削除できません。

ステップ 4 削除するかどうか確認を求めるダイアログボックスが表示されたら、**[OK]** をクリックします。
